

あなたの時間を少しだけ

児童の見守りに



天見小学校の継承と発展のために・・・

みんなで力を合わせて地域課題の解決に取り組もうと、平成27年2月に設立された天見地域まちづくり協議会。これまで、買い物ツアーや空き家の調査、ウォーキングなどの取り組みを重ね、4年目が過ぎようとしている。

そんな当会では、4月から、福祉委員会や老人会、民生・児童委員と協力し、天見小学校・学校運営協議会が行う「天見放課後学習会」に協力する。現在、天見小学校では、低学年(1

〜3年生)と高学年(4〜6年生)で下校の時間が異なっている。

そこで、当会が協力し、低学年が授業を終えてからの約1時間を、住民がボランティアとして見守ることで、学校や保護者の負担を軽減しつつ、低学年と高学年が一緒に下校でき、子どもたちの安全確保にもつなげる。

これにより、子どもたちが天見の魅力や住民を身近に感じ、将来も天見に愛着や関心を持ち続けてくれるだろう。

また、この取り組みが新入学や転入学の増加に結び付くことも期待できる。

なお、同校は創立130年を越え、教育目標「なかよし・けんこう・どきよく」は卒業生なら忘れられない。児童数56名、職員数11名の小規模特認校で、田植えや水質調査、林業体験などをを行い、情報教育や英語教育、書く力、国語力の向上策などできめ細かな指導が行われているとのこと。

ぜひ、自分の目で確かめてほしい。

天見放課後学習会ボランティア申込書

お名前	
お電話番号	
活動可能日	平日いつでも ・ () 曜日のみ ・ 他 ()

上岩瀬自治会

会員54世帯、約140人が暮らす上岩瀬地区では、かつて多くの子どもがおり、愛郷クラブによるだんじりの曳行もあった。その後、子どもは減り続け、住民の多くは65歳以上となり、一人暮らしの高齢者も増えている。

そこで、福祉活動では、高齢者への友愛訪問や声かけ、脳トレ・健康体操教室などを開催し、コープの移動販売車も迎え、家に引きこもることのないように地域で支え合いを進めている。

また、自治会活動では、春はお餅まき、夏は地蔵盆、地域清掃なども継続し住民同士の交流を深めている。



そんな中で、8年ほど前、住民有志が「地区のために何かしよう」と一念発起し、農産物加工所「大地の里・友邦」を立ち上げた。

木のぬくもりを感じる建物で、季節の野菜やシヤム、味噌、佃煮、糍（こし）じ、週末にはお総菜、お弁当などを販売。中でも、ご飯は昔ながらのへっついさん（かまど）で薪をくべて炊いている。また、おからコロッケは絶品。遠方から買いに来られる人もいるようだ。

スタッフからは「調理や販売をしながら話もできて、生き甲斐にもなります」との声も。今後は、広場でバーベキューやマルシェのイベントも検討しているとのことだった。



働く世代の健康ウォーク

対象 20歳～50歳くらい
とき 1月19日(日)午前9時～正午
▷小雨決行

コース 河内長野駅前バスロータリー（南海バス時刻表の前）に集合～高野街道～石仏～惣代の棚田～大地の里友邦・千早口駅（約8キロ）

申込 開催日の前日までにLINE (@145nqqq でID検索) に住所、氏名、電話番号を送信

※ゴールで地元の野菜や惣菜などの販売あり。

関天見地域まちづくり協議会の原さん (☎ 68-8023)



話し合い進行中

現在、市役所や社会福祉協議会などが協力して、天見地域のまちづくりの方針を示す「地域別計画」と「地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定が検討されている。

去る12月6日には、初回となる地域ワークショップが開催され、自治会や地域団体などの関係者が出席し、活動状況や課題などを話し合った。

振り返ると、平成27年に「地域別計画」が策定され、天見地域は「豊かな自然を身近に体感！夢と活力を未来に

つなぐまち天見」を将来像に、地域ぐるみの教育環境づくり、高齢者の支援や防災・防犯活動などに取り組んできたが、当時に比べて人口は約1割減少し、高齢化率も上昇し続けている。地域ワークショップの最終回となる1月24日には、その解決方法や取り組みなどを検討する。詳細は各自治会の役員にご確認ください。

新聞の編集に協力を

記事を書ける人、カメラで撮影できる人。経験不問。詳細はメールで

terumici0822@gmail.com